



114
A758
4

千八百八十一年七月十九日(大曜日)横濱刊行ジャパ
ンヘラルド新聞抄訳

大正十一年四月
大隈侯爵印

剛情ナルサーイゼイ、リード氏ハ日本ト我國ノ関
係ト云ヘル主意ニテ再ヒタイムス新聞ニ書ヲ投

シタリ即チ左ニ記載スル所ノ者之レナリ
イゼイ、リード述

余ハ現今日本ニ對スル英國ノ外交政略上ニ関シテ沸
騰セル所ノ或議論ニ於テハ余カ千八百八十年十月癸
卯ノグオートルリイ新報ニ於テ該記者カ余ニ向テ質
スノ議論ニ答ヘサリシトニ多クノ重ミヲ附スルヲ



知リタリ蓋ニ記者カ余ニ向テ質ス所ノ者ハ余カ曾テ
日本ニ就テ陳述セシ左ノ箇条ニアルナリ即チ
米人及魯人ハ甚夕愛敬ヲ受ケルカ如ク而シテ彼ノ
条約改正ヲ阻隔シ或ハ外國人ノ上ニ施スニテ不都
合ナキ正當ナル日本ノ法律ニ抗議シ或ハ鴉片ニ於
テ不正ナル貿易ヲ強壓シ或ハ外國郵便局ヲ閉ツル
トテ拒ミ或ハ琉球事件ニ関シテ支那國トノ葛藤ヲ
挑撥セシハ皆我英人ノ所為ナリト云ヘリ
彼ノ記者ハ余ニ向テ右ニ示シタル余カ陳述ノ箇条ヲ
一々證明スヘシト望ミ且斯ル風評ヲ伎ラニ糊造セ

ニ者ナリトシテ余ヲ罵詈ニタリ
余ハ今記者ニ向テ右陳述ノ中末尾琉球事件ノ一ヶ条
ヲ除キ(此箇条ヲ証明セントスレハ)稍ヤ公使ノ名譽ニ
干渉セサルヲ得サルカ故ニ余ハ寧口此一節ニ就テハ
論スル所ナカルヘシ(殘ル所各箇条ノ一モ空言ニアラ
サルヲ証明セント欲ス貴社敢テ餘白ヲ惜ム勿レ
先条約改正ノ事件ニ就テ論スレハ此事件タル日本人
カ既ニ數年前ヨリ願望スル所ニシテ未夕曾テ少シニ
得ル所ナキナリ最モ此事件ハ漸次整頓ノ緒ニ就キ且
又具之ヲ阻隔猶豫スルモ敢テ理ナキトニアラスト至

氏畢竟之ヲ阻隔シタル一事ニ於テハ我國ノ力其過半ニ居ルヘキハ敢テ疑ヒテ容ルヘキニアラサルナリ
又我公使カ数年ノ間歎獵奈砲及他ノ事件ニ関シタル日本ノ法律ヲ英國臣民ノ上ニ施行サル、丁ヲ争フテ諾セサリシハ之レ亦夕疑ヲ容ルヘキヲニアラス蓋シ千八百七十三年ノ如キ長キ以前ニサレシヤーレスダ
ルキ氏カ「フォルトナイト」レビユ新報レヲ以テ公布セシ正実ナル論文ニ於テ此歎獵ノ事件ヲ論シテ曰ク英國ノ外各國ハ總テ日本政府ノ正當ナル請求ヲ承諾セシトヲ發言シタリ余ハ日本人カ英國ノ為メニ奈砲ノ

犯者ヲ發見シ且歎獵規則ヲ以テ英國ヲ保護シ而シテ其卑劣ナル過料金ハ斯ノ如ク自國罪人ノ行為ニ由テ利ヲ射ントスル所ノ英國ニ引渡サレシトヲ期望スルナリト
鴉片事件ニ関シテ日本政府カ甚シキ大ナル強壓ノ下ニ置カレ或ハ受理スヘカラサル訟訴ヲ敢テ受理シ終ニ我領事裁判廳ニ於テ日本政府ヲ負公事ト判決セシト等ハ皆善ク人ノ熟知スル所ナリ
又亞利加及他ノ各國政府カ日本ニ於ケル郵使局ヲ閉ツル丁ヲ承諾セシ長キ後々迄モ独リ我國ノ頑然

トレテ之ニ抗議セシ丁ハ最モ簡短ニシテ疑フヘキ所
ナキノ実事ナリ但シ合衆國ハ既ニ千八百七十三年八
月ニ於テ日本ト郵便条約ヲ取結ビ以テ日本ニ於ケル
合衆國駐遞理事官ノ六ヶ月前ノ告知ニ據テ閉局セシ
丁ヲ承諾シタリ然ルニ我公使ハ日本ノ官吏ニ打任ス
ルハ本規則ニ陷サルヲ忌ル、トノ口実ヲ構ヘテ久シ
ク垂永利加ノ先例ニ従ハサリキ然レ氏終ニ英國カ此
事件ヲ承認シテヨリ後ハ彼ノ前ノ仕組ノ下ニ於テ數
々發生シタル外國郵便ノ不規則ハ全ク地ヲ拂ツテ失
セタリト明言スル丁ヲ得ルナリ且又日本駐遞監第

九回報告ヲ見ルニ外國郵便創業ヨリ以來今日ニ至ル
迄取扱ヒタル總數貳万五千餘ノ書狀及包物ノ内ニテ
調査ノ行届ク限リハ未タ曾テ一個ノ遺失又ハ盜難ノ
為ノニ失セタル者ナキハ實ニ讚賞ニ堪ヘタル丁ナリ
然リ而シテ昨年中(千八百八十年)日本駐遞局ニ於テ取
扱ヒタル書狀、新聞紙、書籍、及見本等數ハ實ニ六千八百
九十四万四千七百八十二個ニシテ其前年ヨリ増加セ
シ丁一千三百十六万九千五百七十六個即チ三分六
厘ニ当リ是レ日本カ其政治上ニ於テ著シキ進歩ヲ
效シタルノ徴効トナスヘキ者ニシテ苟モ親シク斯ノ

大
女
宮

如キ統計表ヲ閱シタル人ハ若シ郵便ノ盛否ヲ以テ世
界各ノ等級ヲ定ムル中ハ此等ノ數ハ當ニ日本ヲ以テ世
界各國中ノ高等ニ位セシムヘキ者ナルヲ覺知セシ身
余ハ尚日本ノ一般ノ進歩ニ就テ論セント欲スル所ア
レ氏敢テ貴社今日ノ貴重ナル紙上ヲ填メニテラ思レ
他日稍ヤ閑ニ到ルノ時ヲ待サルヲ得サルナリ
右ノ如ク余ハ成ル可ク簡短ニ陳叙セシト雖も余カ前
ニ上記ノ風評ヲ登載セシハ決シテ充分ノ原因ナキニ
アラサルヲ証シ且余カ今日ニ至ル迄彼ノクオートル
リイ新報記者ノ質問ニ答ヘサリシハ敢テ証明スルノ

能ハサリシカ故ニアラサルヲ証スルニ足ルベキヲ
信スルナリ而シテ余カ今筆ヲ擱クニ當テ一言以テ自
証セサルヲ得サルナリアリ曰ク余ハ今ヤ我カ政府ノ没
来ハ確カニ不完全ノ者ナリシ日本トノ關係ヲ改良セ
ント勉ムルヲ信スルナリト

大友宮

